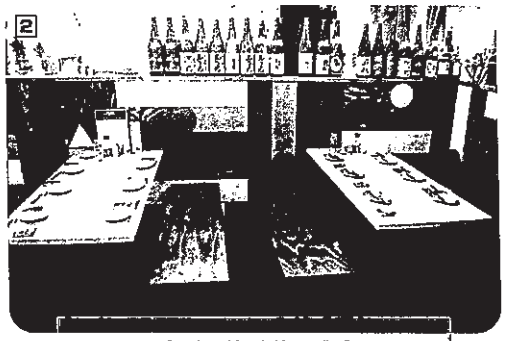
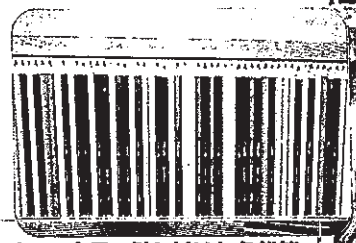


カラフルな壁と“図工室のイス”

10色もの壁紙を貼り分けた店内。「業者さんにも、みんなの初めてだと言われた」(中道さん)。“図工室のイス”は、イケアで購入した999円の既製品に板を貼って再現。



思い出話に花が咲くデザイン

中道さんたちが小学校時代、あこがれの的だったという「クーピーペンシル」の缶ケースをモチーフにした壁の模様。木の板を染色した。

スタッフ全員で貼り付けた色鉛筆

鉛筆メーカーに直接掛け合って、在庫品を卸してもらった。合計500本の色鉛筆。姉妹店の西川口店では、1300本を使っている。1本1本手作業で貼り付けた。

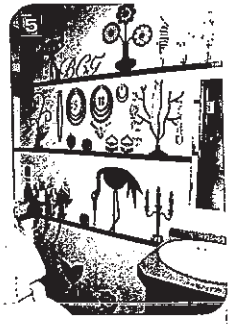
ココがポイント

床・壁は機能性も重視する！

床は掃除が楽なフロアタイル、壁は質感が良く仕上がるジョリパットを使用。業者との話し合いから、メンテナンス性やコスト面で最善の策をとった。

小物にもこだわりがいっぱい！

コースターは、服飾のデザインも手掛ける馬場さんのつてで石川県・金沢の織物工場に発注。ブタ、ヒツジ、トリ、ウシの4種類。



乙女心ふくらむ桃色空間＝トイレ

女性用トイレ。カッティングシートとおもちゃの宝石、人形などを使って、馬場さんがデザイン。少女時代の乙女心をくすぐる。男性用トイレは壁中にプラレールが走る。

中道英治さん　㈱ビーシージー代表取締役社長　馬場淳夫さん　㈱ビーシージー代表取締役クリエーター　高岡正人さん　㈱ビーシージー副社長

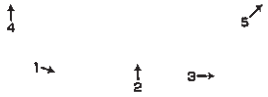
子供時代の純な気持ち爆発！ 前向きなパワーを充電する酒場

1969年生まれ、現在40歳（オープン当時）。同じ小学校の同窓生という中道英治さんと馬場淳夫さんの“同級生”コラボレーションから生まれた「ちゃい九炉」。

大手居酒屋チェーンに長年勤めていた中道さんと、クリエーターの馬場さんが互いの得意分野を発揮して、店舗造りに挑んだ。

すなわち、ターゲットは自分たち自身。きっかり40歳、サラリーマン。今、少し落ち込みがちな人たちに夢を持って前に進むパワーを与える。後ろ向きに昔を懐かしむのではなく、あの時の気持ち――純な気持ちを取り戻す場所としてコンセプトを立てた。

「ちゃい九炉」とは、Child Clock＝子供時計、子供時間の意味だ。色とりどりの色鉛筆と黒板、正義の味方やかわいいお人形さん。突拍子もない子供時代の頭の中をそのままばら撒いたような空間となった。

【shop info.】
所在地：東京都千代田区三崎町2-12-5
ニュー千代田ビル2階
TEL：03-3261-6999
営業時間：17:00～翌5:00
定休日：無休

【shop data】
立　地：オフィス街
オープン日：2009年11月18日
店舗面積：21坪（外階段含む）
席　数：50席
客　層：30～50代サラリーマン・OL
男女比率：男性70%、女性30%
客単価：2600円